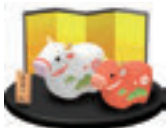


北海道ぎょれん広報



なみまるくん



[うみ・なかま コミュニケーション]

1

2021
No.387

北海道
ぎょれん



特集

海・ひと・夢 スペシャル 新春 会長インタビュー
ぎょれん常勤役員の新春メッセージ

海ひと夢スペシャル

新春会長インタビュー

協同組合運動の 原点に立ち返る



川崎 一好 会長

明けましておめでとうございます。
新春にあたり、川崎会長に
昨年を振り返り、新年に向けた
お話を伺いました。

【うみ・なかま コミュニケーション】

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
January 2021 No.387

1

01 海・ひと・夢 スペシャル
新春 会長インタビュー

04 新春企画 ギョレン常勤役員
新春メッセージ

06 特集2
ギョレン職員が選ぶ ギョレン5大ニュース

08 特集3
大漁旗ができるまで

10 なみまるインフォメーション

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 大漁祈願!
浜のほっとニュース

13 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱

表紙の写真
長万部漁協 大中漁港です。



おなか
穏やかな海面に朝日が映る(大中漁港)

新型コロナウイルス感染症 による漁業への影響

昨年2月から北海道でも影響が出始め、年末においても新型コロナウイルス感染症（以下・新型コロナ）は衰えを見せません。道民、国民の皆さんも食生活そのものが変わり、それによって漁価も影響を受けました。新型コロナの影響でモノが売れない期間が続き、出荷できない魚種も出てきました。しかし、その時期しか獲れないものの出荷を抑制するのは無理があります。それでも、その無理をやらないと市場がより一層混乱してしまうという状況の中でバランスを取るのに非常に苦労した年でした。それと同時に、いくつかの新型コロナ対策が漁業者全体に平等であったかといえば、そうではなかったと思っています。それでも、国や道、市町村からの新型コロナに関する補助をできるだけ多くの浜の皆さんに使っていただけるよう、漁協の皆さんと一緒に、ぎよれんも取り組みました。

今後、新型コロナの影響がどれだけの期間続くのか、未だにはっきりし

出数量が多くなれば単価も上がってくるでしょうし、今RCEPの協定が締結したということに関しては非常にありがたいと思っています。

昆布は当初見込みの1万3千tを割り込む可能性があります。非常に品薄になってきているにも関わらず、新型コロナの影響で需要が伸び悩んでいるというのは他の魚種と同様ですが、高次加工も含めた販売等の方法について、もう少しぎよれんがリーダーシップを取りながら考えていかなければならないと思っています。

（※）東アジア地域包括的経済連携（RCEP）…ASEAN10か国と日中韓豪及びニュージーランドが参加する地域的な包括的経済連携協定。地域の貿易・投資の促進等に向け、市場アクセスを改善するとともに様々な国の間で知的財産や電子商取引等の幅広い分野のルールを整備した。

浜の暮らしを守る資源管理を

昨年の12月には漁業法が施行になり、資源管理がより重要視されるようになりました。今後は資源管理を中心とした漁獲管理がもっと進んでいくだろうと思います。一方で、その一環と

ません。国や道とともに、新型コロナの影響下にある水産業を少しでも落着かせる、浜の皆さん方の助けになるような取り組みをしていきたいと思っています。

来年早々はこの影響の胸突き八丁（物事を成し遂げる過程で、いちばん苦しい正念場）になるだろうと思っています。

変わる漁獲に調査と対策を

昨年は、全国的に温暖化現象が非常に顕著な年でした。獲れるべき魚が獲れない、回遊してくるべき魚が来ないという傾向が北海道においても非常に顕著な1年だったと思います。その筆頭格がさんまでした。公海上で各国入り乱れて漁をしています。これとて去年の水揚げには達しません。魚も非常に小さく、数量も去年から見ると相当落ちると聞いています。

加えて、いかも予想に反して水揚げがとても低い水準に留まりました。さんまやいかは、各漁業のみに携わっている漁業者が多くいます。現在のような水揚げが何年も続くと、生活が非常

して推進されている、通信技術などを利用したスマート水産業も、どのように使用し、活用されていくのかは、今後の動きを待たねばなりません。

また、天然資源の調査・管理というのは非常に難しいですが、浜の漁業者の方に理解を頂きつつ生産性を向上できるような対策が必要です。

漁業者の生活が成り立たないような資源管理はあり得ません。急激な資源管理によって、漁獲数量を減らすことだけが資源管理ではない。今、浜に暮らす人の生活を保ちながら持続的な漁業にしていけることが、漁業法改正に本来我々が望んでいることです。そこをしっかりと国に理解して頂き前に進めていってほしいと思っています。法律改正は、浜の皆さんのプラスとなるものにならないといけないですね。

今こそ「助け合い」の 協同組合精神

こういう時だからこそ、協同組合運動の原点にもう一度我々漁業者ひとりひとりが立ち返るべきだと思います。そしてお互いに助け合いながら、こ

に困窮したものになると思われます。現在の積み立てプラスや共済事業ばかりでなく、それぞれの魚種に対する調査と対策を道や国に急ぎ要望していかねければならないと考えています。

漁獲の優等生とされてきた秋鮭も、一昨年と同じような水揚げ数量となりました。しかし、今まで大漁だったところが普通になって、今まで採れていなかったところが大漁となっています。太平洋側の道東では、一昨年からすると全く獲れていません。こちら

も、国と道、北海道だけ・ます増殖事業協会などが一丸となって調査・対策にあたっていますので、ぎよれんとしても、できる限り協力していきたいと思っています。

ほたては数量的には問題ないと思っていました。しかし、かねてからの輸出の停滞に加え、新型コロナによる魚価の低下で苦しい状況になっています。輸出等については、東アジア地域包括的経済連携（RCEP^{アールセップ}）（※）による対応で輸出が簡便に進められる方向性を国にいち早く出してもらいたいのです。輸出ができれば、国の輸出対策の対象品目にほたてが含まれているので、少し安心できます。来年以降も輸

の資源の減少、あるいは新型コロナによる魚価の低下などの困難に向かっているような姿勢を浜全体が一体になって持つべきだと考えています。精神的な落ち込みを支えるのは、家族であり、仲間であり、同業者だと思っています。不漁の時はもちろん、時化で漁に出られない時、あるいは思うような値段で漁獲物が売れない時も、明日に向かってみんながそれぞれ手をつなぐことで、新しい社会が出来上がっていく。そんな気がしますね。





常務
本間 靖敏

70年ぶりの漁業法改正、いよいよ「水産改革」が始動します。

歴史的な大不漁、コロナ禍による生活様式の変貌、地球規模の環境変化と時代の変革に的確に対応すべく柔軟な発想と自然との調和・共生を目指し、将来に向けて新たな北海道スタイルの漁業再構築が求められています。

「継続は力なり」、時代に合った自らの改革を進め、漁業にとって「持続可能な多面的機能」を大いに発揮し、新たな挑戦を始める年にしたいものです。



持続可能な開発目標(SDGs)の理念(貧困無くし、地球を保護、平和と豊かさを享受)は漁業・漁村の協同運動と同じです。資源も環境も経営も「持続」「安定」することが大切だと思います。

新年の抱負を漢字(二字)



常務
伊藤 貴彦

昨年は新型ウィルスの流行で大変な年でした。当たり前と思っていた日常が大きく変化しました。海の状況も変わりました。新たな漁業法もスタンスが全面的に変更されています。環境・組織・個人嗜好、すべて変化し続け、環境収容力は刻々と変化し、ふるいの目合いも激しく収縮しています。「環境に適応できたもののみが生き残る」のは、産業も企業も人も例外ではありません。私も本会も、変化にふるい落とされたい体力をしっかりと身に着けたいと思います。



変化にふるい落とされたい体力を身に着ける。

新年の抱負を漢字(二字)



常務
山口 重幸

令和2年は、何事も思うように事が運ばず、出足を挫かれる年であり、久しぶりに1年が長いと感じる年でした。世の中ではアフターコロナだウィズコロナだと騒がれていますが、たった一つの感染症ですが日本のみならず、大きな変化が起きようとしています。だったら私たちも新しい年に希望をもって、今までとは違う世界に足を踏み入れていかなければならないと考えています。また、長い1年になりそうですが、新たな取り組みを実践できる充実した1年となるよう精進します。



言わずもがな日曜夜9時の流行り言葉です。令和2年は理性も知性も感性も全部コロナに持っていかれました。令和3年はいろんな場面で全部「倍返し」で返してもらおうと思います。

新年の抱負を漢字(二字)



常任監事
村上 和美

あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍に翻弄された1年でした。

魚価低迷の起因であり、国内経済に大打撃を与え続けています。

イギリス、アメリカでは既にワクチン接種が始まっておりますが、本年は国内でのコロナウイルスワクチンの供給が早期に開始されることと共に、経済活動の正常化と魚価の回復を切に願い、加えてオリンピック景気に沸くことを期待します。



「辛丑(干支)」の年は、緩やかな衰退と新たな命の息吹が互いを生かし合い、強め合うことを意味しているとの事。

新年の抱負を漢字(二字)

新春企画



ぎょれん常勤役員の 新春メッセージ

昨年を振り返るとともに、新年の抱負を漢字二字で表現していただきました!



副会長
菊池 元宏

コロナ禍はいずれ収束し、取巻く環境は好転していくものと思いますが、現在進行形の禍のなかで、組織としてリモート化への対応不足、また生産性の低さなど諸課題が露呈しました。今のままでは立ち行かなくなる、という警鐘を鳴らしたものと捉え、抜本的な組織改革を行う必要があると思っています。福は待つだけでなく、作り出しつかみ取る。もっともっと、浜から信頼される組織になる。そのような年にしたいものです。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



「禍福は糾える縄の如し」幸福と災禍は縄のように表裏一体であり、一時のそれに一喜一憂しないこと、という意味です。

新年の抱負を漢字(二字)



専務
安田 昌樹

災害の時代とも言える「平成」が終わり、誰しもが災害のない穏やかな時代を望んだ「令和」。蓋を開ければ後世にまで語り継がれるであろう地球・人類規模での「コロナ」災害の年となりました。半面、我々に大きな「気づき」も与えてくれました。時代は大きく変わりましたが後戻りはしないよう、前進型の業務が求められます。本会は事業を通じてこそ存在感を発揮できる組織です。鶏口牛後ではなく「牛口」を目指し、ネオスタイルの業務を追求していく事が新年の誓いです。



本会にとって、浜と「共生」していく事が大事。収束が見えぬ中、コロナと「共生」していく事も大事。二つの「共生」を通じて「勝ち組より価値組」になる事が大事。

新年の抱負を漢字(二字)



常務
本田 勝実

令和2年度の昆布生産は統計史上最低を更新しそうです。減産傾向に歯止めがかかりません。コロナ禍により消費も大きく減退しています。生産回復・消費回復に向けて更なる知恵の結集を進め、対応策を模索します。

原油情勢は国際政治がらみで混沌としており、依然として先行きが見通せません。原油価格は漁業資材にも大きな影響を及ぼします。的確な情報収集に努め、系統購買を通じ安価で良品質の燃油・資材の安定供給に努めます。



ここ数年聞いたことがない言葉です。今年こそその願いを込めて祈りを捧げます。

新年の抱負を漢字(二字)

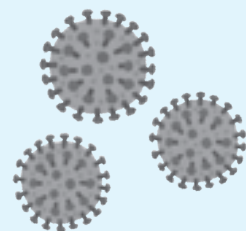
4位 ほたて水揚げ量は、6年ぶりに40万トンを上回る見通し。水揚げはオホーツクを主体に増加傾向。

コロナ禍の中、輸出に関わる情勢は不安定ですが、国内消費を主体にさらなる基盤強化を図っていきます。



5位 国内外で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、本道水産業の多方面に影響が生じる！

系統団体・道水産林務部が連携し、「北海道水産業新型コロナウイルス感染症合同対策本部」を設置し要請活動を展開した結果、国、道により各種緊急対策が措置されました。



惜しくもベスト5から外れた、6位以下はこちら

6位 コロナ禍のマスク不足時、ぎょれん購買部にて中国製マスクを全道漁協、関連会社等取りまとめを実施。販売累計は200万枚超え。

7位 新型コロナウイルス感染拡大による社会情勢を鑑み、令和2年度のぎょれん会が中止に。

8位 国の水産政策の改革に伴い、「新たな資源管理」が推進され、ほっけや真だら等がMSYに基づくTAC管理の検討対象となる。くろまぐろの二の舞とならないよう、本道の漁業実態に即した水産資源の管理の実施を国に強く要望する。

9位 全道昆布生産量、2年連続低水準。今年も13,000トンに届かない見込み。

10位 新型コロナウイルス感染症の影響はほっき、つぶ、かれい、ぶり等の浜値に大打撃。国のコロナ対策による補助事業とも連動し、鮮魚対策を強化。

今年は良いニュースがたくさんあることを期待しています。

ぎょれん職員が選ぶ ぎょれん 5大ニュース

ぎょれんでは毎年年末に、「今年のぎょれん5大ニュース」を職員の投票で決めています。今年の話は何と言っても現在、世界中に拡散している新型コロナウイルス感染症です。東京五輪・パラリンピックの開催も2021年に延期になりましたが、2020年はどういう年だったのか、ぎょれん職員の視点からご紹介します。

1位 新型コロナウイルス感染症が全国で拡大！

感染防止のため、ぎょれんでは様々な施策を実施。事務所における対面でのアクリル板の設置、時差出勤や時短勤務など就業体制の変更、主催会議行事の延期・中止やリモートでの開催、出張の延期・中止等です。



2位 秋鮭水揚げ量は昨対102%、46,000トン。2年続けて50,000トンに届かず。

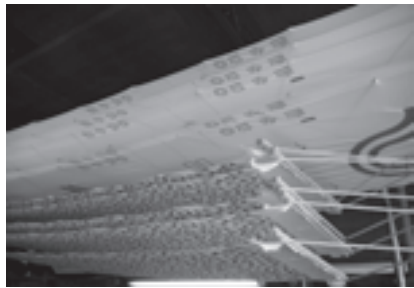
水揚げは昨年の大不漁と大きく変わらないレベルとなりましたが、漁獲金額は300億円を回復しました。2021年の水揚げ復活と豊漁を期待します。



3位 さんまの水揚げ量、昨対54%、11,500トンに。秋の味覚が大ピンチ。

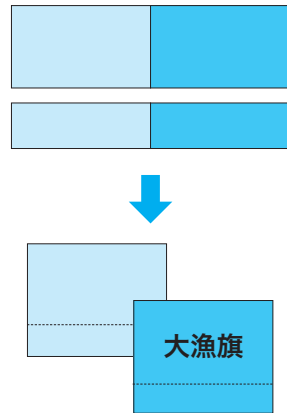
全国の水揚げは11月末までで2万7,200トン(昨対72%)。今年は、来遊時期が大幅に遅れ、水揚げの行方が心配されました。水揚げ減少の理由として温暖化や外国船による漁獲の影響などが考えられています。来年の豊漁を期待しています。





糊置きした生地。下の3枚は獅子舞に使用される唐草模様の布(上)口金は作業する場所に合わせて大きさを変える(下)

②糊置き
生地の染めない部分に防染糊を染み込ませる。下絵の線に沿って、一定量を口金から絞り出していく繊細な技術が求められる工程です。絞り袋と口金の向きなどは人によってクセがあるため、職人それぞれが専用のものを持っています。



①下絵
広げた生地には文字や図柄を描く。近藤染工場では、3代続く専任の下絵師が担当しているそう。下書き等はなく、専用の染料で図柄や文字を描き上げます。大きな大漁旗は上下2枚に分割して作られますが、下絵も布が分かれた状態で描かれるそうです。



洗い場や洗濯機で水洗いを繰り返す。広い布地は水を吸うととても重くなるので、洗うのも一苦労

④水洗い
色止め剤の溶液に通して色を定着させた後、大量の冷水で洗う。冷水で3回、その後約80℃の熱湯で3回ほど洗うことで余計な染料や糊が流れ、染めの色柄が鮮烈に発色します。



1人1人染め方にも個性があるため、1人の職人が染める(上)。同色の染料は染料ごとに刷毛を変えるため、壁には刷毛がたくさん(下)

③刷毛引き染め
染め色ごとに大小の刷毛を使い分け、まんべんなく染め上げていく。最後に生地を裏返し、染料が染みた繊維の毛羽立ちをならしめます。

⑤縫製

洗って乾燥させた染物を縫製し、製品へと仕上げる。旗そのものを縫い合わせるほか、旗のふちにある房(フレンチ)などを注文に応じて取り付け、大漁旗が完成します。



完成までは約1ヶ月かかります

航海の安全と大漁への願いをのせた大漁旗

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、人の集まる進水式やお祭りが開催されないことが多く、大漁旗やはんでんの注文も減少しているそう。それでも、近藤染工場の長澤さんは「漁師さんがいて、我々の仕事があります。おめでたい文化ですし、若い方にも変わらず続けてほしいですね。少しでも活気ある場を作るお手伝いになればうれしいです。職人さんの作った大漁旗は、それぞれが世界に1つしかない1点ものです。贈られた方の思いも伝わると思いますが」と話します。航海の安全と豊漁を願い、祝う大漁旗。今年はたくさんの旗が空に舞うことを願ってやみません。



大漁旗ができるまで



漁船完成時のお祝いや大漁・航海安全を祈願して作られる大漁旗。華やかなデザインで、大漁を知らせるほか、縁起物として子供の誕生や節句の他、祝いの場で飾られることもしばしば。今月は、そんな大漁旗ができる様子をご紹介します。

その起源は不明ながらも、江戸時代中期にはすでに似たものが使用されていた大漁旗。現代では新たな「船出」を祝う縁起物としても活用されています。



近藤染工場で作られる大漁旗の一番人気は華やかな宝船のデザイン(左)。結婚祝いや節句のお祝いとしても使用されており、卓上サイズから大きな旗までサイズも様々



旭川にある

(株)近藤染工場さんに伺いました。



旭川駅近くに工場と売店を構える(株)近藤染工場(上)、取材に対応して頂いた長澤さん(下)

旭川の中心部にある(株)近藤染工場(旭川市1条通3丁目右1号)。創業は明治31年と、120年以上の歴史を持っています。大漁旗の他にものれんやはんでんなど、様々な染物を製造・販売していますが、売れ筋はやはり大漁旗。多い年は年間1,000枚を製作するそうです。近藤染工場の大漁旗は北海道のみならず、全国から注文の入る看板商品です。その大きさも、大型のカレンダー2つ分程度の大きさから、8畳間ほどの大型のものまで様々ありますが、道南からは大きなサイズの注文が多いそうです。デザインは近藤染工場のオリジナル。基本的には過去に近藤染工場で作られたデザインを参考に決めていくそうですが、過去には金髪の布袋様や坊主の金太郎、布袋様のびくに入った鯛をほたてへ変更など、贈る相手に合わせたデザインを製作したこともあるそうです。

シークワードクイズ 1月のテーマ 「冬といえば」

シ	ロ	ク	ブ	テ	ク	ユ
ヨ	ン	カ	ツ	ア	ル	ヤ
ー	グ	カ	コ	ジ	ミ	チ
ル	ブ	コ	ン	タ	ト	ボ
ミ	ー	ト	オ	ア	ツ	カ
ト	ツ	ト	キ	デ	ホ	イ
ン	カ	ミ	ス	ダン	ロ	

どれにも使用しなかった文字を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

ク	テ	シ	ギ	ウ	ビ	ウ
ギ	ヤ	シ	ク	ヨ	ヨ	ヘ
ン	キ	ジ	カ	チ	シ	ゴ
ミ	ラ	コ	ク	ウ	タ	ヤ
ズ	カ	ハ	ン	フ	サイ	
ガ	ビ	オ	エ	ハ	ケ	ギ
メ	ト	オ	ト	ス	シ	

12月号の解答と当選者 テンビン

(泊 村) 秋山 祐子さん
(島 牧 村) 小倉 陽子さん
(札幌 市) 青いグフが好きさん
(札幌 市) りんかちゃんさん
(帯 広 市) 中島 ミドリさん

1月は「冬といえば」がテーマです。筆者(男性です)は下記にあるリストのショール、ストールとマフラーの区別がつかません。皆さんはわかりますか?

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読める様になっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ☐ アツカン(熱燗) | ☐ ストール |
| ☐ アンカ(あんか) | ☐ ダンロ(暖炉) |
| ☐ オデン(おでん) | ☐ テブクロ(手袋) |
| ☐ カイロ(懐炉) | ☐ トンジル(豚汁) |
| ☐ カボチャ(かぼちゃ) | ☐ ホットミルク(ホットミルク) |
| ☐ コート | ☐ ミカン |
| ☐ コタツ(炬燵) | ☐ ミトン |
| ☐ ショール(ショール) | ☐ ロングブーツ |

〈ヒント〉「〇〇は天から送られた手紙である」とは素敵な言葉ですね。

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえたと答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

リスト

- ☐ アキアジ
☐ コマイ
☐ プリ
☐ サンマ
☐ コンブ
☐ アサリ

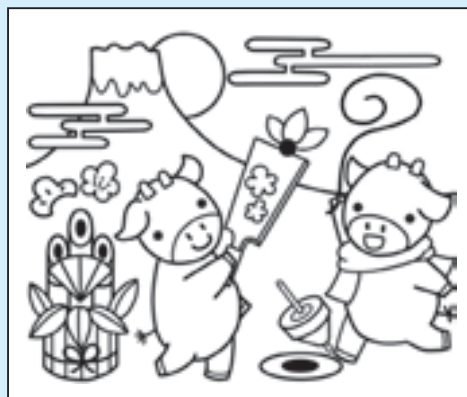
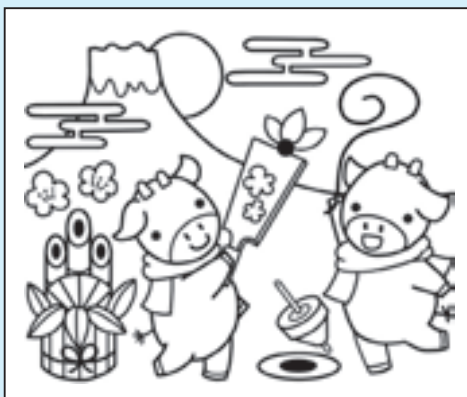
ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なる箇所があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

クリスマスにおいしい道産水産物を

札幌市の児童福祉関連施設に水産物の寄贈を行いました

平成5年からクリスマスの時期に行われているこの寄贈も今年で28回目。ぎょれんより札幌市内の児童福祉関連施設14か所へ道産水産物の寄贈を行いました。寄贈されたのは秋鮭切身やいくら醤油漬、ほたての貝柱、にしんと秋鮭の昆布巻など120万円相当の水産物。例年行っている目録の贈呈式は、今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から実施されませんでした。寄贈された水産物はクリスマスの25日頃各施設に届く予定です。



おいしい道産水産物で、クリスマス～年末年始をより楽しんでもらいたいです

公共交通機関で道産水産物をPR

消費地を中心に、全国でほたてと秋鮭の魅力を伝えています

需要の増す年末より、道産水産物の宣伝活動が活発になっています。

北海道を発着する航空会社、AIRDO便全路線の機内複数では、12月から2月にかけて機内での広告放映や機内誌での広告掲載の他、ほたてをデザインした紙コップの使用や干貝柱のプレゼントを行っており、搭乗者へほたての魅力をPRしています。

また、「世界のほたて料理で美味しく旅気分」をテーマに、各国の料理をほたてでアレンジしたメニューでのPRも展開中。3年前より行っている、首都圏を走る京急電鉄の車両1編成をジャックし、車両の外側はほたてのラッピング、車内はほたてを使用した様々な料理の提案を行っている「北海道ほたて号」は、昨年12月7日(月)～2月6日(土)までの2か月間運行しています。12～1月にはJR北海道の快速エアポート1編成で車内広告の占有も行っており、道内外でほたてのPRが行われています。

さらに、東京メトロの南北線では昨年12月10日(木)～24日(木)の2週間、1編成を占有して秋鮭といくらのPRを実施しました。東京メトロ駅改札周辺で配布しているフリーペーパーへの広告掲出も併せて実施しており、たくさん利用客へ道産秋鮭・いくらをアピールしています。



AIRDOの紙コップとプレゼントされている干貝柱。干貝柱は3万個の数量限定で配布中。実際にほたてを食べてもらうことでそのおいしさを体感してもらいます



東京メトロでは秋鮭・いくらをPR。内容の一部はぎょれんのホームページでも公開しています

編集部からのお知らせ

皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿（お便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん1月号への感想・ご意見など（※150字程度まで）
- ②11ページのシークワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉1月22日までに送ってください。

（郵便）〒060-0003

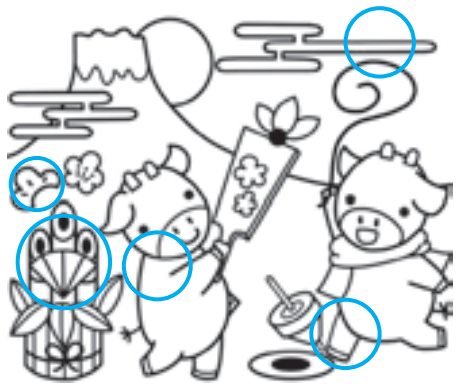
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎよれん 総務企画部 広報担当

（FAX）011-242-3543

（電子メール）info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違いさがしの答え



編集後記

あたまっつなぬいぐるみ

今年の干支である丑は、古くから人間の労働力や食料として身近な存在でした。「なみまるくん」も身近で役に立つ存在を目指して、より精進してまいります。

（矢幡）

新年を迎え、広報誌も「新スタイル」を模索しながら進めていきます。引き続き、ご愛読よろしくお祈り致します。

（藤江）

今年1年 ゼロ海難で 幸せを

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

なみまる おたより箱



今年も終りに近づいています。コロナで悩まされた1年でした。ぜひとも来年は、明るいニュースが多い年になりますように！！

（湧別町 白井ミセ子さん 85歳）

今年にはハマチ、ブリ、サバと浜では大漁です。漁師さん達も水産加工場も大忙しです。とてもよろこばしいことです。何かでもコロナで町に出るのにもマスク、手洗いとピリピリ。早く安心して生活できるようにしたいですね。

（函館市 若葉さん 70歳）

コロナでどこもいけず、運動不足です。魚を食べ、カルシウム不足をおぎない、なんとかすごしています。漁師のみな様、体に気をつけがんばってください。

（帯広市 中島ミドリさん 65歳）

（標津町 渡部恵子さん 65歳）

12月8日の道新で発見！エアドゥ乗客へ貝柱プレゼント、おしいですよねエー。自分も大好きです。ホタテパワァーでコロナも終息するといいたすね。

（福島町 るるんさん 55歳）

コロナ早く終息してほしい。魚価安で不景気です。

（利尻富士町 利尻のかあさん 71歳）

雪のせいでとても寒くなってきました。道路もよく滑るので運転には注意してください。

（神恵内村 玉谷拓哉さん 34歳）

今年には雪降るのがおそかったですが、これからですね。雪景色はきれいで好きですが毎日雪かきはつらいのであまり降ってほしくないです。

（函館市 ふくふくさん 39歳）

コロナで家で食べる事が多くなり洗い物をして母のお手伝いをしています。いろいろな魚にちょうせんしています。

（札幌市 りんちゃんさん 10歳）

かきの美味しい季節。生で食べたい時はお取り寄せにしてみました。調理の仕方、栄養、勉強になりました。

（登別市 タチ大好きさん）

小樽

激動の年であった2020年も残すところあと僅かとなりました。真だらや助宗をはじめ、かれい類、ひらめなどが年の瀬を迎えた市場を賑わせています。時化が続いていますが、最後まで安全操業のもと水揚げが続くことを祈念します。一方、年明けには石狩湾沿岸でしん漁が解禁となります。水産試験場の予想によると、資源量は高水準であった昨年並みと見込まれ、浜の大漁を願っています。

室蘭

秋鮭定置網漁は12月12日をもって約2,000トンの水揚げで終漁となりました。予想に反して昨年を下回る水揚げになりましたが、来年以降の来遊に期待しています。管内主要魚種の助宗だらについては、現在卵の成熟が進んでおり、これから勝負です。もう一つの主要魚種であるほたて漁も本格始動し、浜は活気づいています。気温も下がり、時化模様が続き季節となります。皆様の安全操業と大漁を祈念しています。

根室

12月1日から野付漁協のほたて桁曳網冬季漁が始まりました。既に11月3日から標津漁協、25日から今年で2年目となる根室漁協の根室沖新漁場操業が始まっており、管内では220～280トン程のほたてが日々水揚げされ、浜は活気づいています。現在、コロナ禍の影響を受け、水産物の流通・販売にとっては大変厳しい情勢となっています。浜は前を向いて、頑張っていますので、今後の安全操業と大漁を祈願しています。

留萌

管内は時化が続いており、思うように操業出来ない日が続いていますが、出漁があれば、赤かれいや真たらなどが纏まった数量で水揚げされています。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、管内漁業も大きな打撃を受けました。先行きが見通せず、終息までは暫く時間が掛かりそうですが、令和3年が皆様の安全操業および大漁の一年となることを心より祈念しています。

大漁祈願！

浜のほつとニュース

梶山

新年あけましておめでとうございます。寒風吹き付ける冬の日本海では助宗だら延縄漁の水揚げが増えています。抜群の鮮度を誇るひやまの助宗だらは鍋が美味しい冬の季節にぴったりな魚で、テレビ番組で紹介されるなど、本州でも根強い人気があります。厳しい寒さが続いているので体調管理には留意の上、安全操業と新年の豊漁を祈念しています。

函館

12月に入り管内の助宗だら漁が本格化しています。昨年の約70%の水揚げとなっているものの、12月中旬から水揚げが増え始め、入札は活気に満ちています。一方、函館市場には真たら、あんこう、かじか等鍋や汁物にピッタリな魚種が数多く上場され、冬漁本番を迎えています。これからますます時化早くなりますので、安全操業に留意の上、迎える新年が大漁となることを願っています。

日高

いか釣漁は、11月は時化模様でしたが、12月に入ってから水揚げがまとまりました。今年度はまもなく終漁となりますが、1日でも長く好調な水揚げが続くことを期待しています。一方、ばばがれいも好調な水揚げ数量となっています。新型コロナウイルス感染症の影響から単価が昨年より安値になっていますが、このまま順調に水揚げされ、昨年以上の取扱い金額になることを祈っています。

釧路

新年、明けましておめでとうございます。本格的な寒さに見舞われている当管内では、ばばがれい、毛がに、ほっき、たこなどの冬的主役達の水揚げが本格化してきました。現時点の水揚げはどの魚種も昨年と同程度となっており、これからの豊漁に期待しています。厳しい寒さが続くことが予想されますが、引き続き安全操業を祈っています。

北見

新年、明けましておめでとうございます。ほたて漁、底建網漁も終漁し、オホーツク海はすっかり冬本番を迎えています。一方、サロマ湖内のかき漁は旬の時期を迎え、水揚げが本格化しています。これからの季節、鍋料理を中心として需要が高まり、水揚げ量・浜値ともに昨年以上を上回ることを期待しています。日に日に寒さが増していますが、本年も各漁の安全操業と大漁を心より祈願しています。

稚内

明けましておめでとうございます。風雪が大変な時期ですが、利尻・礼文地区ではかれい・たららの刺し網漁が操業されており、また稚内地区では毛がに刺し網漁の開始に向けて準備を進めています。しばらく寒さが厳しい期間が続きますが、安全操業で豊漁となることを願っています。



鮭の三平汁 レシピアクセス数 第6位

今回は「鮭の三平汁」をご紹介します。

家庭料理研究家・東海林明子さんのレシピ。具たくさんの汁物は、主菜にもなります。三平汁は北海道の伝統料理で、鮭のほかには糠にしん、塩をしたたらやほっけのアラなど、地域によって様々な具材が使われます。

2021年はぎょれんのホームページ「おすすめレシピ 365」のアクセス数上位レシピをご紹介します。(上位20位の中から魚種や料理法の重複など考慮して掲載を決めています。*2019年1～12月調べ)

材料

4人分

鮭のアラ	半尾分
にんじん	1/2本
じゃがいも	2個
ごぼう	1/2本
長ねぎ	1/2本
水	5～6カップ
昆布	10cm
酒	大さじ2
塩	少々

作り方

- ① 鮭のアラはぶつ切りにし、塩気が多い場合は水につけて塩抜きする。
- ② にんじんは乱切りにする。じゃがいもはひと口大に切って水にさらし、水気をきる。ごぼうは乱切りにし、水にさらして水気をきる。
- ③ 長ねぎは斜め薄切りにする。
- ④ 鍋に昆布と水を入れて10分ほどおき、②を入れて中火にかける。沸騰直前に昆布を取り出し、①を加えて煮る。
- ⑤ 火が通ったら酒を入れ、味を見ながら塩を加える。③を散らして火を止めたら出来上がり。

